

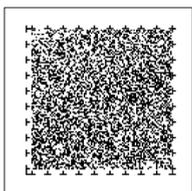
がん検診等

■ 加入している健康保険に関わらず久留米市民が対象です

医：医療機関で受ける(6～8ページで探す)

集：集団会場で受ける(9～10ページで探す)

検診の種類	対象者 (R8.4.1時点)	間隔	費用	検査方法
肺がん・結核 検診	40歳以上	毎年	医 500円 集	胸部 エックス線検査 
大腸がん検診	40歳以上	毎年	医 700円	便潜血検査 (2日分) 
			集 500円	
胃がん検診 <small>胃カメラかバリウムの いずれかを選んで受診</small>	50歳以上 偶数年齢	2年に1回	医 2,000円 <small>胃カメラのみ3月末まで実施</small>	胃内視鏡検査 (胃カメラ) 
			集 600円	胃部エックス線検査 (バリウム) 
子宮頸がん 検診	20歳以上 偶数年齢の女性 21歳 (無料クーポン対象者)	2年に1回	医 900円	視診・内診・細胞診 
			集 400円	
乳がん検診	40歳以上 偶数年齢の女性 41歳 (無料クーポン対象者)	2年に1回	医 40歳代 (二方向) 1,000円 50歳以上 (一方向) 700円	マンモグラフィ検査 
			集 40歳代 (二方向) 700円 50歳以上 (一方向) 400円	
骨粗しょう症 検診	25・30・35・40・ 45・50・55・60・ 65・70歳の女性	5年に1回	医 500円・800円 <small>※DEXA法(腰椎)のみ800円</small>	骨量測定 
			集 300円	
前立腺がん 検診	50歳以上 の男性	毎年	医 400円	血液検査 
胃がんリスク 検査	41歳・46歳 (41歳時未受診者)	1度のみ	医 500円	血液検査 
肝炎ウイルス 検査	20歳以上	1度のみ	医 無料	血液検査 



検診日にもっていくもの

① 本人確認書類

運転免許証や
マイナンバーカードなど

② けんしん費用または 減免のための証明書

(詳細は2ページへ)

(該当する人のみ)

③ 無料クーポン券、 胃がんリスク検査受診券

■ がん検診は、「適切な年齢」「適切な受診間隔」で受けましょう！

R8年4月1日時点で該当年齢であれば、誕生日前でも受診できます

注意事項	共通項目
<ul style="list-style-type: none"> 妊娠中または可能性のある人は受診できません。 	<p>Point 01 がん検診には利益と不利益があります</p> <p>国が推奨する5つのがん検診（胃・大腸・肺・子宮・乳）は、下記のような利益が不利益を上まわることが、科学的に認められています。</p> <p>利益</p> <ul style="list-style-type: none"> がんによる死亡率を低下させることができる がんになる前の異常細胞を見つけることができる 身体や経済的負担が少ない治療で済む <p>不利益</p> <ul style="list-style-type: none"> がんが100%見つかるわけではない（偽陰性） 不必要な検査や治療を招く可能性がある（偽陽性） 生死にかかわらない進行の遅いがんをみつけてしまう可能性がある（過剰診断） 検査に伴う偶発症が起こりうる <p>Point 02 自覚症状がある人は検診の対象となりません</p> <p>自覚症状のある人は医療機関をご受診ください。また、対象部位のがんと診断され治療中や経過観察中の人も検診の対象となりません。</p> <p>Point 03 要精密検査判定が出たら必ず精密検査を受けましょう</p> <p>精密検査が必要と判定された人が、精密検査を受診するまでが、がん検診です。精密検査が必要と判定されたからといって、必ずしもがんがあるというわけではありません。しかし、「症状がない」「健康だから」といった理由で精密検査を受けないと、もしがんがあった場合、診断が遅れ、がんが進行してしまう恐れがあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 受診日に1番近い便を2回採取します(1日目と2日目の採便間隔はできるだけ短くしてください)。 月経(生理)中を避けて便を採取してください。 検体の保存条件(時間と温度)は、検査の精度に著しい影響を及ぼします。採便後は必ず冷暗所(冷蔵庫推奨)で保存をしてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 受診前日・当日の食事や水分制限等は、受診する医療機関の指示に従ってください。 妊娠中または可能性のある人は受診できません。 胃疾患で治療中の人は、主治医や検診実施機関にご相談ください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 妊娠中または可能性のある人や嘔下困難な人、バリウムで気分が悪くなったことがある人、過去に潰瘍性大腸炎等炎症性腸疾患の既往のある人は受診できません。 検査の前日夜9時以降は何も食べられません(ガム等も不可)。前日夜11時以降は水分も控えてください。前日は飲酒もできません。検査日の朝は喫煙できません。 	
<ul style="list-style-type: none"> 月経(生理)中の受診は正確な結果が出ないことがありますので、なるべく避けてください。 妊娠中または可能性のある人、子宮内にリングやミレーナ等の装置を使用されている人は、集団会場では受診できません。かかりつけの医療機関で受診してください。 子宮摘出手術を受けた人は検査を受けられません。主治医にご相談ください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 自覚症状のある人、妊娠中または可能性のある人、人工物による豊胸手術後の人、「ペースメーカー」「植込み型除細動器」「脳内シャントカテーテル」「埋込み型留置カテーテル」を装着している人は受診できません。 授乳中や断乳後間もない人は、予約時にご相談ください。 超音波検査との併用はできません。併用を希望される方はどちらも任意型検診(自費)となります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 骨密度検査にはいくつか方法があり、DEXA法(強さの違う2種類のX線を照射して、骨密度を測定)腰椎のみ自己負担金が違います。検査方法につきましては、各医療機関にお問い合わせください。 集団検診はDEXA法(手首の骨)です。 	
<ul style="list-style-type: none"> 前立腺に刺激が加わると敏感に反応するので、検査前1週間は激しい運動や自転車乗車を控えてください。 尿道・肛門・直腸等の検査後1か月間は受診できません。 	
<ul style="list-style-type: none"> 将来胃がんになるリスクを判定する検査です。胃がんを発見する検査ではありません。対象者には受診券を5月末頃に郵送しています。 過去に市が実施する同じ検査を受けた人、胃切除術やピロリ菌除菌治療を受けた人は受診できません。 	
<ul style="list-style-type: none"> 肝炎ウイルス検査については、保健所保健予防課(0942-30-9730)まで 過去に肝炎ウイルス検査や、肝炎抗ウイルス薬治療を受けた人は対象外です。 	



**検診は年度内1回です。
重複して受診した場合は全額自己負担になります。**

例) 集団会場でバリウムによる胃がん検診を受けて、同年度内に医療機関で胃カメラの胃がん検診を受けた場合、胃カメラは全額自己負担になります。

